

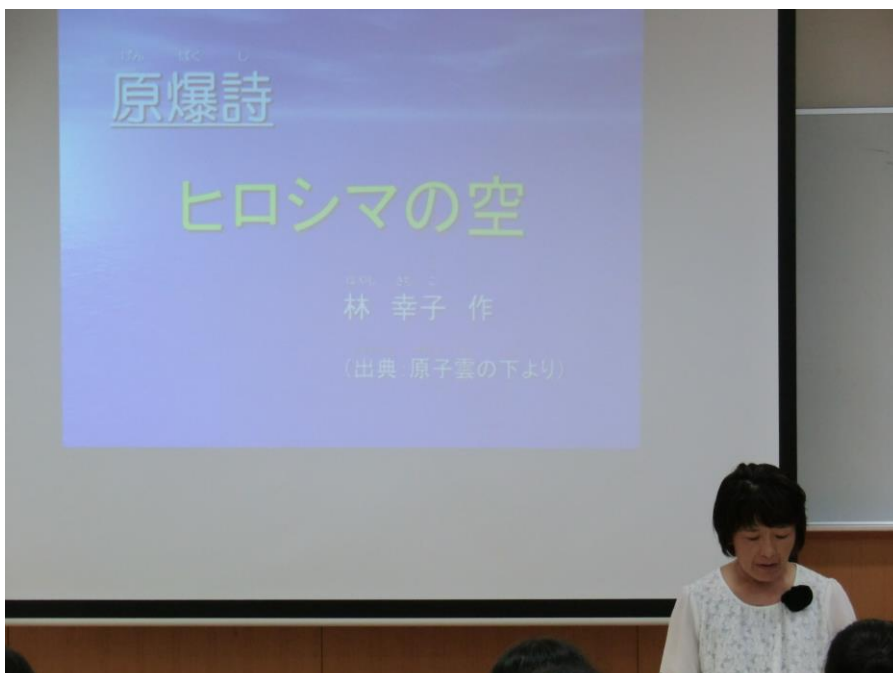
戦争と平和のおはなし会 道下小学校

平成28年8月1日(月)に、道下小学校5、6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

まず最初に、音と視覚から戦争の実相を捉えるため、原子爆弾の悲惨な被害を伝えるDVD「被爆の爪跡」を視聴しました。



次に、図書館の朗読ボランティア「おはなしを楽しむ会」の皆さんが朗読される被爆体験記や原爆詩を静かに聞きました。



原爆詩や被爆体験記は、現代では考えられないとても辛く、悲しい内容で自分の家族を思いながら、集中して話を聞いていました。

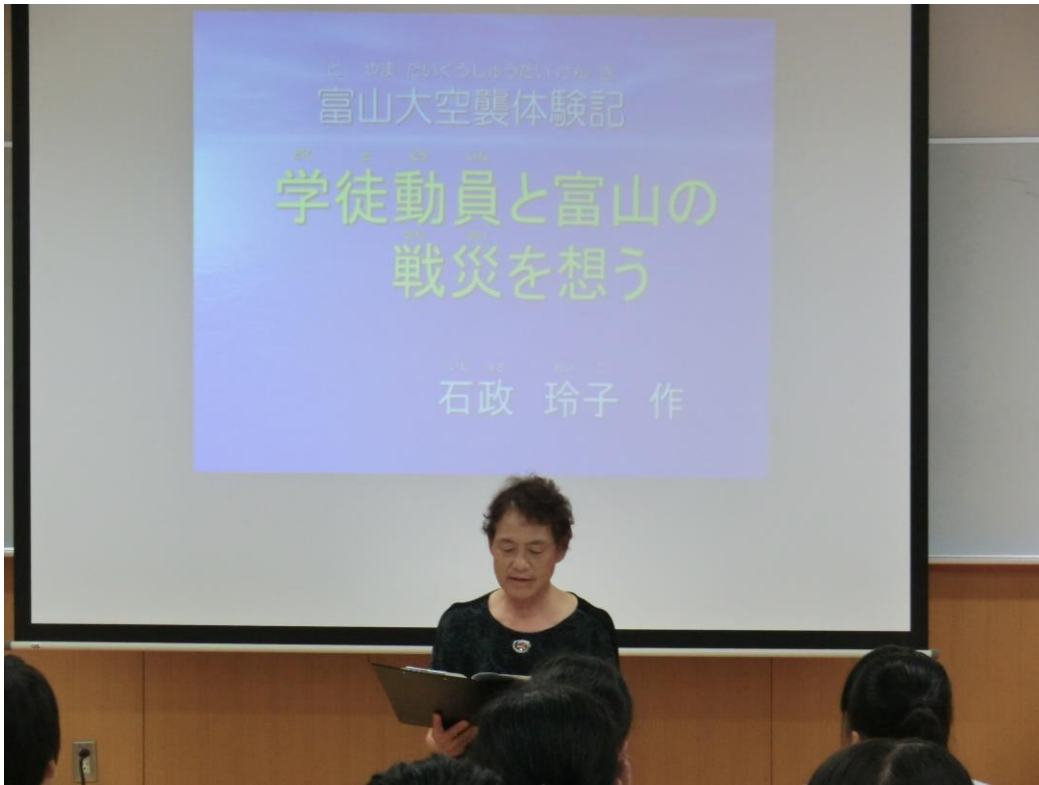


次に、おはなしを楽しむ会の方からもんぺや防空ずきんを使い、戦争当時の様子について説明してもらいました。



飽食の現代からは想像つかないほどの食糧難、日頃聞くことのない戦争に関するお話を聞き、「生きていることの幸せ」を実感しているようでした。

今度は、自分たちの住む富山大空襲の被害について学び、被害にあわれた方の体験記を聞きました。



自分たちの住む富山県でも大変な被害を受けた空襲があったことを知り戦争を身近なことと捉えることができました



被爆地ヒロシマへ現職のアメリカ大統領として初めて訪問されたオバマ大統領の様子についての説明を受け、平和な世界を実現するために自分たちができることを思い描いている様子が見られました。



最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈り黙とうをささげました。



戦争と平和のおはなし会を終えて、子どもたちから感謝の気持ちが伝わりました。また、おはなし会終了後には、会場に設置してある原爆被害のポスターや戦時中の資料を大変興味深く見ていました。



